

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

内容
<p>《1 時限目》 全校生 対象</p> <p>① 【おどりで表現してみよう！】 傘や太鼓等形のあるもの、風や波等の風景を‘振り’として体で表現します。</p> <p>② 【掛け声をかけよう！！】 民謡の掛け声練習 「ソーラン節」 2.「八木節」 ^ ヤンチキドッコイショー等</p> <p>③ 【民謡を踊ってみよう！！】 船を漕ぐ振りや網を投げる振りなど① からの発展で 「ソーラン節」を一緒に踊ります。</p> <p>④ 【民謡のリズムを楽しもう！！】 学年別等に分かれて、「八木節」のリズムを手拍子・足拍子で掛け合います。 踊りもみんな体験します。</p> <p>《2 時限目》 代表生徒 もしくは 代表クラス 対象</p> <p>⑤ 共演する八木節の練習</p> <p>※手順を書いた資料と DVD を本番までの練習用としてお預けします。</p>

タイムスケジュール（標準）
開始 1 時間前に学校入り。（体育館にて準備、ご担当の先生と打合せ等） 1 時限目 全校生徒（もしくは希望学年） 休憩 2 時限目 代表生徒

派遣者数
5 名

学校における事前指導

特にありません

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

演目
民俗芸能の魅力発見 ～みて・きいて・おどって感じる ニッポンのおどり～
◆お米作りと関わりの深い芸能 ・さなぶり荒馬（青森県）・百姓おどり（岩手県）
◆代表的な民俗芸能 ・鹿躍（岩手県）・鬼剣舞（岩手県）
◆日本のお祭り ・飾山囃子（秋田県）・銭太鼓（島根県）・傘おどり（鳥取県）
◆ワークショップで体験した踊り ・ソーラン節（北海道） ・八木節（群馬県）フィナーレで共演♪
◇体験コーナー◇ 装束や小道具に触れてみよう♪ 楽器の音色を聞いてみよう♪
公演時間（ 80 分）

派遣者数
17名 （出演者 13名 スタッフ3名 運搬1名）

タイムスケジュール（標準）
9：00 学校到着 → 搬入 → 設営・準備
10：30～11：45 リハーサル（うち30分程 代表生徒リハーサル）
12：00～ 昼食・支度
13：30 本番（90分 うち10分休憩）
15：00 本番終了 → 片付け
16：15 退校

実施校への協力依頼人員

公演中や休憩中の体育館内の換気をお願い致します。

演目解説

民俗芸能の魅力発見

～みて・きいて・おどって感じる ニッポンのおどり～

【みて・きいて・おどって・かんじる】をテーマに、
全曲、生演奏により 舞踊家が間近でおどり、日本各地に伝わる様々な民俗芸能の持つ
魅力に迫ります。

・さなぶり荒馬（青森県）

田植え後に、豊作や害虫駆除を
祈願して地元の神様に奉納した芸能。
馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな
囃子で踊りながら入場します。



・鹿踊（岩手県）

長い腰指（ささら）を背負い、腰に付けた
太鼓を激しく打ち鳴らし 念仏調の踊り歌を
自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな
芸能です。



体験コーナーⅠ

鹿踊の装束の解説と実際に装束や
太鼓をもってその重さや質感を
体験していただきます。

体験コーナーⅡ

「百姓おどり」がお米作りの芸能ということで、
代表の生徒さんに体験してもらいます。昔と現代とでどのように
変わっていったのか踊りに出てくる道具と振りを交えながら
お米作りの振りを生徒さんに体験して頂きます。

・百姓おどり（岩手県）

五穀豊穡を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で伝統的な作業の様子をコミカルに踊ります。鋤、鎌などの小道具の他、うずまき傘を脱穀機に見立てるなどして楽しい踊りからお米作りに興味を持って頂ける一曲です。



・休憩(10分間)

・鬼剣舞”二人加護”（岩手県）

鬼面（仏の化身）を付け、刀と扇子を扱いながら勇壮に踊ります。



・飾山囃子（秋田県）

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、娘たちがその山車の上で華やかに踊る秋田県の祭礼です。華やかな衣裳もご注目ください。



・銭太鼓（島根県）

竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けた楽器を打ち振って文化文政の頃（1804～29）から盛んに唄われてきたと言われる“隠岐相撲取節”にのせてリズムカルに踊ります。



・傘おどり（鳥取県）

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殻節”にのせて踊ります。

・体験コーナーⅢ

刀・お面、銭太鼓、傘など見て触ってもらい、回し方振り方などをやってもらいます。



・体験コーナーⅣ

伝統的な楽器の紹介と解説と共に、演奏を聞いてもらいます。

・ソーラン節(北海道)

杵網の中に入ったニシンをすくいあげるおり、
沖揚げ作業の仕事唄(うた)として
歌われてきたものです。

ワークショップで体験していただいた踊りが
どのように舞台上で演じられるのか
楽しみながら見ていただきます。



・八木節(群馬県) ※共演コーナーⅤ

すげ笠、花笠、唐傘 等を扱いながら
活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。
見るだけでなくフィナーレで代表生徒と演者で
共演します。



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

体験コーナーⅠ

重量感などを体験・・・

鹿踊の装束の解説と実際に装束や太鼓をもってその重さや質感を
体験していただきます。

体験コーナーⅡ

お米作りの作業を踊りで表現・・・

「百姓おどり」がお米作りの芸能ということで、
代表の生徒さんに体験してもらいます。昔と現代とでどのように
変わっていったのか踊りに出てくる道具と振りを交えながら
お米作りの振りを生徒さんに体験して頂きます。

体験コーナーⅢ

使って実演・・・

刀・お面、銭太鼓、傘など見て触ってもらい、
回し方振り方などをやってもらいます。

体験コーナーⅣ

伝統的な楽器の紹介と解説と共に、演奏を聞いてもらいます。

共演コーナーⅤ

代表学年の皆さんにワークショップで練習した「八木節」を披露してもらいます。

踊る人以外は手拍子、かけ声と一緒に参加、全員で舞台を作り上げていく・・・
生演奏の楽器のリズムに合わせて手拍子を打ったり、掛け声を掛けたりなど、
見ている生徒さんも含めて全員と一緒に楽しめる工夫も行います。

児童生徒とのふれあい

曲目解説の中でボードを活用し、振り(表現)の元となる自然や道具等の“見立て”等をクイズ形式にしたりして交流しながら児童生徒さんのおどり、そして民俗芸能への興味をふくらませていきます。

学校側のご意向があれば、終演後その場で児童生徒さんより感想を頂いたり、出演者への質問コーナーを設けて、より具体的な交流を図ります。

又、ご要望がありましたら、「八木節」を踊ってくれた代表学年の方たちと出演者で記念撮影を行います。

(※撮影時、ソーシャルディスタンスで生徒さんと演者間に少し距離を保ちます。)